

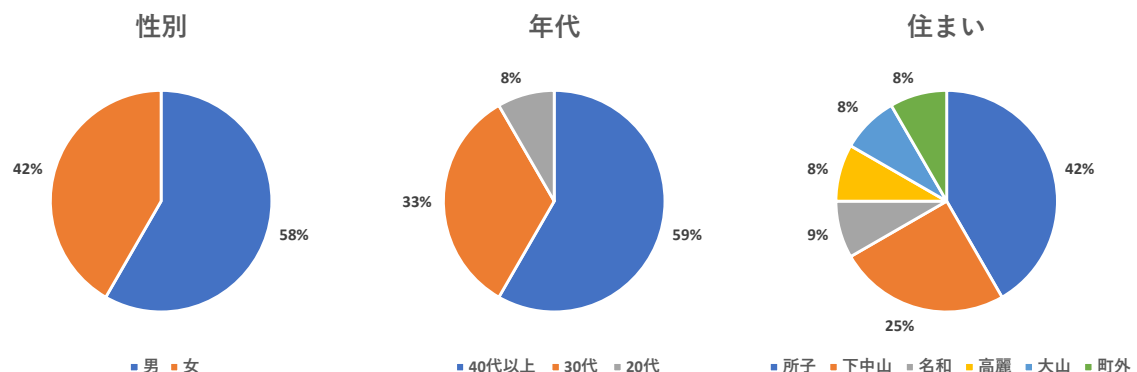
第三次大山町総合計画の検討に関する 若者世代に向けたまちづくりヒアリング実施結果

1 ヒアリング概要

[調査目的]	第三次大山町総合計画基本計画の検討にあたり、主に若者世代の意識調査を行い、若者の価値観や世代間の考え方の違い、社会の変化を把握し、政策立案の参考とするもの
[調査手法]	とっとり電子申請サービスを用いた任意のアンケート
[調査期間]	令和7年8月22日(金)から令和7年9月18日(木)まで
[設 問]	質問① (選択・必須) あなたの性別を教えてください。 質問② (選択・必須) あなたの年代を教えてください。 質問③ (選択・必須) あなたのお住まいを教えてください。 質問④ (記述・任意) 次のテーマに対するご意見がありましたらご記入ください。 「あなたの大山町での暮らしの中で満足度が高いこと」 質問⑤ (記述・任意) 次のテーマに対するご意見がありましたらご記入ください。 「若者・女性が活躍できる大山町であるために必要なこと」 質問⑥ (記述・任意) 次のテーマに対するご意見がありましたらご記入ください。 「まちづくりに参加しやすくなるために必要な仕組みや環境」 質問⑦ (記述・任意) 上記のテーマ以外のご意見がありましたらご記入ください。

2 回答結果

回答人数 12人



(テーマごとの意見内訳)

あなたの大山町での暮らしの中で満足度が高いこと	9 件
若者・女性が活躍できる大山町であるために必要なこと	8 件
まちづくりに参加しやすくなるために必要な仕組みや環境	8 件

3 意見概要

(1) テーマ「あなたの大山町での暮らしの中で満足度が高いこと」

番号	年代	意見
1	20 代	・自然豊かなこと
2	30 代	・所子地区では、地域に多くの家が建って活気があること、生活に必要なお店が充実していること、若い世代が増えたこと、アクセスが良いこと ・大山町では、家を建てると補助が出ること、子どもを持つ家庭に対する支援が多いこと、町民が優しいこと
3	30 代	・公共施設が整っていること ・子育て支援が手厚いこと
4	30 代	・移住者が多く、みんながつながっていること ・山、海、川など自然が豊かなこと ・地域の行事があり、それを支える想いのある人がいること ・保育園の立地(ぼうけん山、川が近い、フォーラムで屋根付き広場、適度な公園、大きな図書館、四季彩園芝生広場) ・くわがたむしやかぶとむしが捕れる環境 ・安く入れるサウナ付きのなかやま温泉がある ・フォーラムに色々大事な施設が詰まっている ・スーパー、コンビニもそこそこ近くて、夜まで開いている ・都会に比べて近所迷惑にならずに子育てができる ・野菜や海鮮、今の時期は川がに等の食材をもらえる ・とにかく食べ物が美味しい
5	40 代以上	・移住前と変わらない生活だが日々リラックスして過ごせていて、リゾートライフを送っているような感覚がある
6	40 代以上	・自然豊かであること ・気温がやや低めで過ごしやすいこと ・地域の力が都会より強いこと
7	40 代以上	・海、山、川などの自然を生活しながら身近に触れられる環境があること ・夏は特に地域の祭りなどイベントがたくさんあり地域交流ができて楽しいこと
8	40 代以上	・交通量の少なく、子どもが交通事故にあう心配をあまりなくてよいので安心して暮らせる ・国道 9 号でも大型トラックはほとんど走っていないくてのんびりしている
9	40 代以上	・待機児童が無いこと

(2) テーマ「若者・女性が活躍できる大山町であるために必要なこと」

番号	年代	意見
1	30 代	・道の整備 ・仕事の種類 ・駅前周辺の開発 ・お店を出せるような場所 ・開業支援 ・過去の風習や地区毎の決まりを整理する
2	30 代	・中山地区に若者向け住宅や町営住宅以外にアパートやマンションなど広い賃貸住宅がないこと ・大山町内で仕事ができ、生活できるようにすること
3	30 代	・各組織・団体の役職や役員から年配の人が早く引退すること ・次世代の人や女性の視点が生きるように、横槍が入らない環境整備をして、若手が地域を回すこと ・議会の年配議員は定年制などを設けてやめていくこと ・年配の人たちの意向を汲み取りながら若手が活躍して、結果的に全世代が満足のいく組織団体運営や事業実施をすること ・男性も女性も若手も年配も、ある程度能力があり、時代に合わせた仕事や業務、事業や経営があることが必要 ・結果が出ていない(満足度の向上していない)組織に徹底的にメスを入れていくべき
4	40 代以上	・営利目的でも施設が利用できたり、補助金を利用できたりすること
5	40 代以上	・女性は絶対的に所得が低く、ケア労働を担う割合が高いため、所得の確保と体調を整える環境が必要 ・若者は所得が低いため子どもを育てるときに周囲の協力が必要
6	40 代以上	・大山町の農業の未来に不安を感じているため、若者や女性でも農業がしやすい環境整備をすること ・水耕栽培で葉物、根菜野菜が作れる技術を活用する施設を少しずつ増やしていくと、風評被害にあわない利点があり、野菜が早く育つので早く出荷できるため、大山町の新しいブランド野菜などの開発も面白そう
7	40 代以上	・世代ごとに別々に活動すると活動の幅が狭くなりがちのため、いろんな世代を巻き込んだ世代を超えた幅広いつながりが必要
8	40 代以上	・スキー場利用支援など活気づくり

(3) テーマ「まちづくりに参加しやすくなるために必要な仕組みや環境」

番号	年代	意見
1	20 代	・大学生のボランティア活動としてまちづくりに参加してもらう
2	30 代	・限られたコミュニティが力を持っていて参加しにくい ・意見が反映されにくい ・新しい考え方が受け入れられにくい ・まちづくりの集まりの開催日や時間 ・地域のご意見番の意見が強い
3	30 代	・住民アンケートをとる
4	30 代	・一人の本気の人がいれば、参加する人も増えるし、組織も活性化するので、その一人を探してくるか、自分になるか、誰かを育てるか
5	40 代以上	・子育て世代や核家族の毎日の負担を減らすこと ・参加したくても人手不足なのか各所から協力要請があり、家族の時間は減り、ストレスになる ・企業型の保育園とは違い登園の準備物が多く、親が参加するイベントが毎月あるため協力できない ・集まりは、町が荒れないように見回りやゴミ拾い程度に抑え、各自が自分の時間を増やして幸せの形をつくるほうが、町は明るくなる
6	40 代以上	・自治会離れが言われているので、もう少しゆるいつながりが必要
7	40 代以上	・クリテリウムやシンクロクロスのような展開が分かりやすい自転車の周回レースを開催し、年代別に距離を変えてクラス設定、年間3～6戦程度のシリーズ戦にすれば、キッズからシニアまで体力に合わせて継続して参加できる ・このようなイベントがあれば世代間交流、健康増進、自然の満喫など活気あるまちづくりができ、使っていない電動自転車の活躍の場がある
8	40 代以上	・WEB会議など活動のオンライン化

(4) 上記テーマ以外の自由意見

番号	年代	意見
1	30 代	・都市計画の策定までしなくても良いと思うが、これから町としてどの地区の道やインフラを整備し、人に住んでもらうのかを明確にしていく必要がある ・住居は増えているが、新しい飲食店や商店などが増えていないため、休日に町内でできることが限られ、結局、お金を使いに町外に出してしまう
2	30 代	・大山町は場当たりのことが多い運営だと感じる ・子育て世代で恩恵を受けている家庭だが、将来性がない呼び込み方だと感じており、お金に釣られる人が増えると町の未来はないと感じるため、自然豊かでこの地が気に入って住んでくれる人でないといけない
3	40 代以上	・障害のある方への手厚い支援、障壁は本人ではなく社会にある
4	40 代以上	・町内の小学校は担任ができる先生の人数がギリギリの状態、ゆとりを持って子供たちの指導ができない状態にあるため、わからない時にわからないと言え、教えてもらえる学習支援の先生方の存在が欠かせない ・大山町では子供たち一人一人に用品購入の予算があるが、我が子に必要な物は親が購入しますので、そのお金を小学校の教職員数を増員、支援員の先生を雇用する予算に使って、教育の充実をしていただきたい